



Train



令和6年9月25日発行

☆ 秋の訪れ ☆

2学期が始まって1か月。夏休みを終え、心身ともにさらに成長した子どもたちの姿を見ることができてうれしい日々です。さて、猛暑もやっと終わりの兆しが見え、朝夕の涼しさに秋を感じる季節となりました。子どもたちにとって学習に、運動に、集中して取り組むよい時期です。10月には、野外活動を実施します。学年の目標である「Train」や野外活動の目標「見つけよう、自然の美しさ 確認しよう、仲間の大切さ」を実践し、さまざまな活動を通して自分の成長を実感できる野外活動にしていきたいと思っています。また、季節の変わり目で体調を崩しやすい時期です。子どもたちの健康に留意しつつ、がんばりを多方面で支えていきたいと思っています。

☆ 10月の学習 ☆



国語…たずねびと・方言と共通語・秋のタよりよい学校生活のために
書写…「秋風」書写コンクール課題練習
社会…わたしたちの生活と食料生産
算数…整数・分数
理科…台風と天気の変化・流れる水の働き
音楽…パートの役割・日本の音楽
図工…言葉から思いを広げて(読書感想画)

家庭科…持続可能な暮らしへ物やお金の使い方
食べて元気! ご飯とみそ汁
体育…陸上運動(短距離走・走り幅跳び)
器械運動(跳び箱)・保健「けがの防止」
外国語…Lesson5
Let's go to the zoo.
総合的な学習…福祉実践教室
発表内容決め



【お詫び】

先月の集金にて、給食費を790円少なく集金していました。ご迷惑をおかけいたしますが、今月の集金にて差額を含めた金額を徴収させていただきます。申し訳ございませんでした。

★野外活動の集金について★

野外活動費ご準備ありがとうございました。なお、過不足分については11月の学年費で調整させていただきますので、よろしくお願い致します。会計の詳細については、11月の学年通信にてお知らせします。

★令和7年度併設型中高一貫校の説明会について★

併設型中高一貫校についてのお知らせが届きました。

ご覧になりたい方は、以下のアドレスから内容をご確認ください。

【<https://www.pref.aichi.jp/press-release/chukoikkan-setsumeikai-2024-9.html>】

★トヨタ車体 富士松工場見学★

10月22日(火)社会科の工業の学習の一環としてトヨタ車体の工場に行きます。工場で製造されている車の種類や、人気の色、工場内でレーンに乗せた車のボディに部品や機械を取り付けているところなどを実際に見て学習を深めます。10月中旬にしおりを配付しますので、持ち物などのご確認をよろしくお願いいたします。

給食費	20食	4,200円
	差額	790円
	計	4,990円
学年費	ミラクル!ミラーワールド (図工教材) 310円	
合計	5,300円	

◎10月7日(月)に引き落とさせていただきます。前日までに、残高のご確認をお願いします。

風と光

～国語「たずねびと」を読んだ感想～

先週から学習をし始めた、国語の「たずねびと」を授業で初めて読み、感想を書きました。戦争について、子どもたちはさまざまな思いをもち、今の生活と比べているようでした。ぜひ、音読などの際に「たずねびと」の内容についてお子様と話してみてください。

広島は原爆のことや原爆を落とされた町の様子がどんな風なのかをくわしく知りたいと思いました。広島では原爆を落とされてこんなことになっていたとはあまり知りませんでした。この話で原爆のことや広島で起きていたことがわかってよかったです。
(1組 近藤 新)

「たずねびと」は、主人公の綾^{あや}がポスターを見たことから始まる物語でした。実際に広島に行ったときに原爆ドームには行ったことがあるけど、歴史資料館には行ったことがないので行ってみたいと思いました。
(1組 近藤 憲伸)

たった一つの原爆で、約14万人もの方が亡くなっていたことと、残留放射線^{かく}や核物質などの新しい言葉がわかりました。戦争によってたくさんの方が亡くなってしまうので、もう二度と戦争は起きてほしくないと思いました。
(1組 近藤 諒)

戦争が続いていたらもっとたくさんの方が亡くなっていたと思うので、戦争が終わってよかったと思いました。今、日本は戦争をしていないけれど、他の国では戦争が起きているので、早く終わって世界が平和になるといいなと思います。
(1組 志水 陽南)

広島県に原爆が落とされたということは知っていたけれど、14万人もの方が亡くなっていたということを初めて知りました。自分も14万人の人ってどのくらいだろう…と考えてみたけれど、とても想像できませんでした。また、なぜ広島に原爆が落とされてしまったのだろうと思いました。
(2組 瀬戸 唯翔)

「14万人なんか、想像できないよ」のところから、主人公の綾^{あや}は、14万人は多いのか少ないのか想像できていない様子だと感じましたが、ぼくはとても多い人の数だと思いました。14万人の人の命をうばった広島に落とされた原爆はとても恐ろしいと思いました。
(2組 高岡 雅翔)

私たちがこのようなことがあったということを忘れずにいたら、「世界中のだれも、二度と同じような目にあわないですむのかもしれない」と思いました。なぜ、広島に行ったら綾^{あや}がアヤちゃんのことを見つけられると思ったのか不思議に思いました。
(2組 高之瀬 彩乃)

綾^{あや}と同じように、なぜアヤちゃんのこと、何十年もだれも探しに来ないのだろうと、ぎ問に思いました。「祈念館でめぐり合った子どもたちの顔が次から次へと重なった。そして、夢で見失った名前にもいくつもいくつものおもかげが重なって、わたしの心にうかび上がってきた」という言葉が心に一番残りました。
(2組 高橋 臣昊)

10月生まれの仲間たち

2日 今井 美結 4日 伊藤 理月 5日 竹尾 蒼一郎
 6日 岡安 望花 10日 薮下 蓮 11日 石川 凛
 17日 石川 連也 21日 藤山 隼一 23日 筒井 かいり
 25日 横山 紗亜来 28日 原田 宙歩

生まれてきてくれて、ありがとう。出会ってくれて、ありがとう。

♪グループの形にして給食を食べています♪



感染症が流行する前は当たり前だったグループでの会食。
 友達と話しながら、笑いながら
 食べる給食の時間は、さらに楽
 しい時間になっています！